

スーパーマーケット景気動向調査

2022年5月調査結果（4月実績）
（2022年5月20日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

5月調査（4月実績）結果概況

景気判断DIは現状・見通しとも小幅に悪化

4月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DIの現状判断は、前月から-3.6の42.4、見通し判断は前月から-1.5の36.9となり、現状判断、見通し判断とも前月から小幅に悪化した。

経営動向調査では、肉食需要の落ち着き、価格上昇等による販売点数の減少を受け、売上高DI、収益DIともに小幅なマイナスとなった。一方で、生鮮品仕入原価DI、原料価格等の高騰による食品仕入原価DIは、2011年の調査開始以来最高水準で推移しており、販売価格、客単価は高止まりが続き、来客数DIは抑えられた状況が続いている。

カテゴリー動向調査では、前年に比べ行動制限が緩和されたこともあり、すべてのカテゴリーにおいて、前月に比べマイナスとなっており、これまで肉食需要が高かったカテゴリーほど影響が大きかった。一方で、引き続き外食を敬遠する動きや、催事・花見需要の回復を受けた惣菜DIは13.9とプラス幅が大きくなっている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、店舗周辺地域景気判断は小幅な改善がみられたものの、価格の上昇等もあって、景気判断や消費者購買意欲DIは小幅に悪化している。（長期傾向についてはP11参照）

前月は、まん延防止等重点措置が全面解除された後も堅調な肉食傾向が続いていたが、今月は、傾向の変化を指摘するコメントもみられるようになってきている。また、値上げや生鮮価格の高騰が相次いでおり、節約志向を感じるとのコメントも多く、いずれにしても足元では、一品単価の上昇と買上点数減という状況に直面しているのは間違いない。外食への回帰度合い、在宅勤務からオフィス出勤に戻る度合い、節約志向の価格対応訴求か外食代替の美味しく良質な品揃えか、など、消費者の行動変化と、それに伴う食品需要の変化に柔軟に対応することが求められる。

景況感調査

現状判断

景気判断DI
当月：42.4 (-3.6)
前月：46.0

消費者購買意欲DI
当月：42.9 (-1.9)
前月：44.8

周辺地域 競合状況DI
当月：43.3 (+0.4)
前月：42.9

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：44.5 (+1.3)
前月：43.2

見通し判断

景気判断DI
当月：36.9 (-1.5)
前月：38.4

消費者購買意欲DI
当月：37.7 (-1.8)
前月：39.5

周辺地域 競合状況DI
当月：41.2 (+1.1)
前月：40.1

店舗周辺地域 景気判断DI
当月：42.0 (+0.5)
前月：41.5

経営動向調査 経営状況

売上高DI
当月：-3.9 (-4.9)
前月：1.0

客単価DI
当月：10.1 (-1.2)
前月：11.3

来客数DI
当月：-15.5 (-4.4)
前月：-11.1

収益DI
当月：-4.9 (-6.3)
前月：1.4

販売価格DI
当月：17.1 (+0.3)
前月：16.8

生鮮品仕入原価DI
当月：18.0 (+0.8)
前月：17.2

食品仕入原価DI
当月：21.1 (+1.6)
前月：19.5

カテゴリー動向

青果DI
当月：1.7 (-9.3)
前月：11.0

水産DI
当月：-11.9 (-3.8)
前月：-8.1

畜産DI
当月：-13.3 (-8.8)
前月：-4.5

惣菜DI
当月：13.9 (-0.6)
前月：14.5

日配DI
当月：-4.1 (-2.9)
前月：-1.2

一般食品DI
当月：-7.8 (-6.2)
前月：-1.6

非食品DI
当月：-6.9 (-5.5)
前月：-1.4

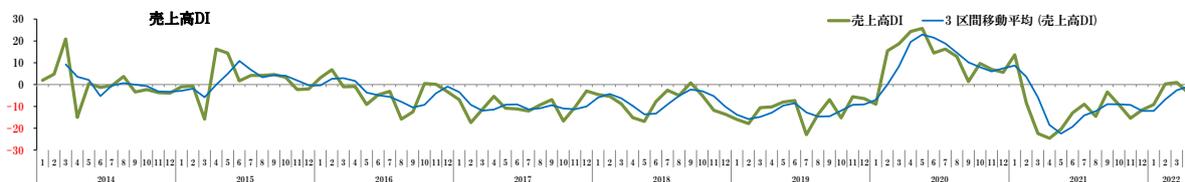
※DI値は前年同月との比較／○内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

当月低下し、3か月ぶりにマイナス

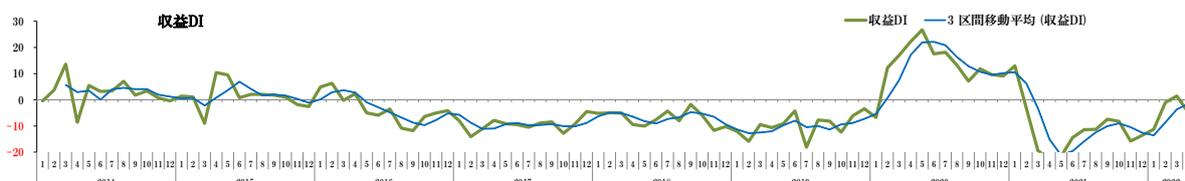
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	4.6	29.7	27.4	33.7	4.6	1.0
売上高 (当月)	7.8	35.3	26.1	26.1	4.6	-3.9



2. 収益DI

当月低下し、3か月ぶりにマイナス

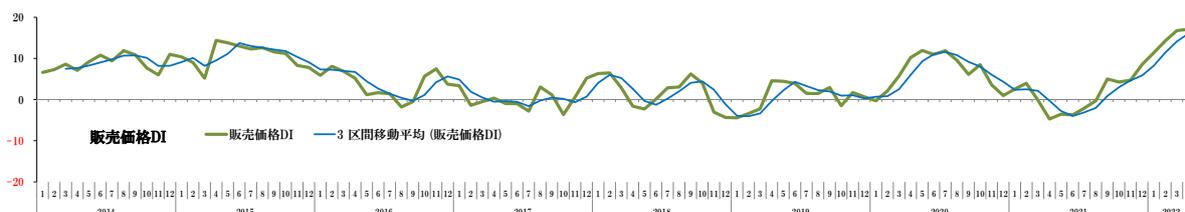
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	5.2	27.7	30.1	30.1	6.9	1.4
収益 (当月)	6.7	36.9	31.5	18.8	6.0	-4.9



3. 販売価格DI

8か月連続で上昇、調査開始以来の最高値を更新

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	1.2	35.8	57.8	5.2	16.8
販売価格 (当月)	0.0	2.6	30.9	61.8	4.6	17.1



4. 客単価DI

二桁プラス水準で高位横ばい傾向

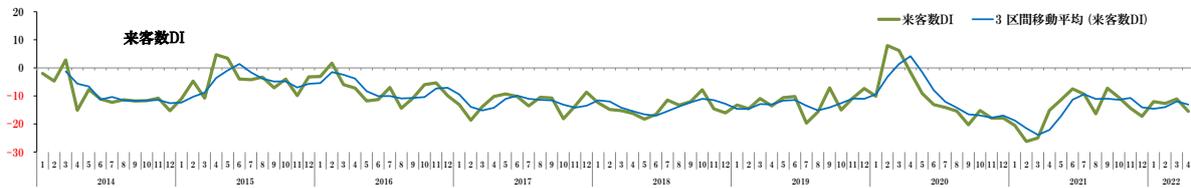
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	1.1	13.1	30.9	49.1	5.7	11.3
客単価 (当月)	0.0	15.9	31.1	49.7	3.3	10.1



5. 来客数 DI

マイナス幅がやや拡大、二桁マイナス圏が続く

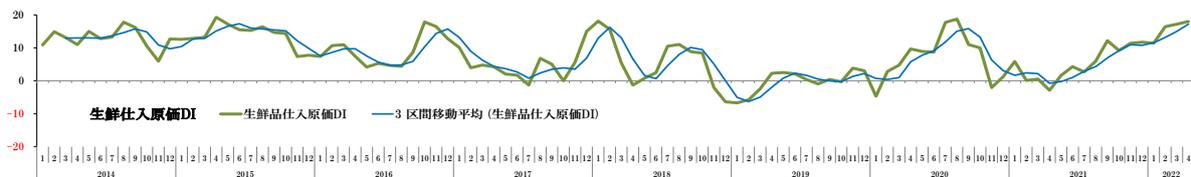
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	8.6	43.1	33.3	13.8	1.1	-11.1
来客数 (当月)	13.1	47.1	29.4	9.8	0.7	-15.5



6. 生鮮仕入原価 DI

二桁プラス圏でじりじりと上昇傾向

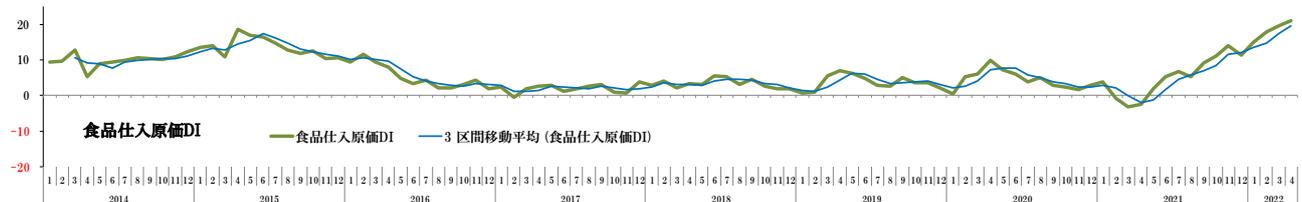
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.6	4.8	32.3	49.7	12.6	17.2
生鮮仕入原価 (当月)	0.0	3.4	29.9	57.8	8.8	18.0



7. 食品仕入原価 DI

12ヵ月連続プラス値、調査開始以来の最高値を更新

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	1.2	3.6	25.1	56.3	13.8	19.5
食品仕入原価 (当月)	0.0	3.4	21.1	63.3	12.2	21.1

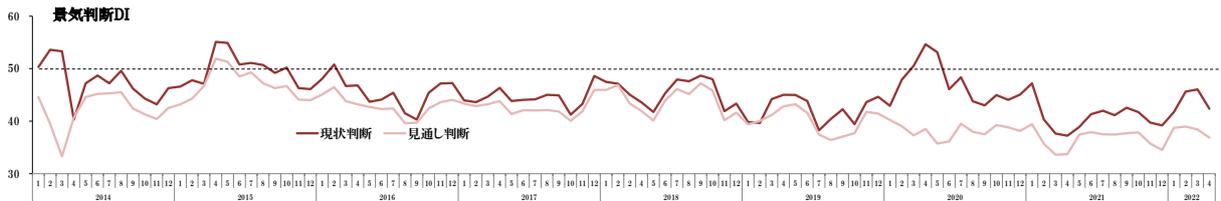


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断は悪化、見通し判断は小幅に悪化

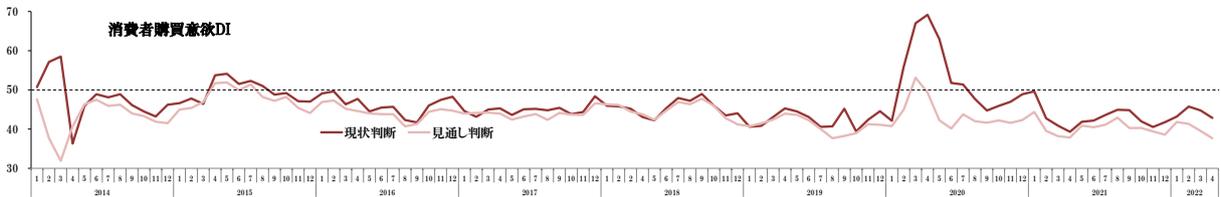
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	2.3	26.6	57.1	13.0	1.1	46.0
【現状】景況判断 (当月)	2.6	36.4	50.0	11.0	0.0	42.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	5.1	41.8	47.5	5.6	0.0	38.4
【見通し】景況判断 (当月)	5.2	48.7	39.6	6.5	0.0	36.9



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断ともに小幅な悪化

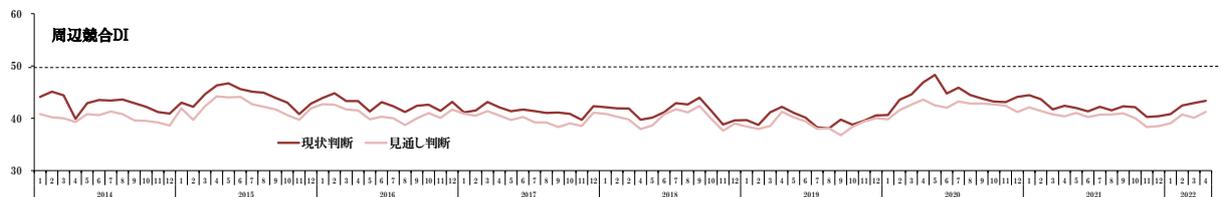
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	2.8	24.3	64.4	7.9	0.6	44.8
【現状】購買意欲 (当月)	1.9	35.1	52.6	10.4	0.0	42.9
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	4.0	37.3	55.4	3.4	0.0	39.5
【見通し】購買意欲 (当月)	3.2	47.4	44.8	4.5	0.0	37.7



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断ともに前月水準で推移

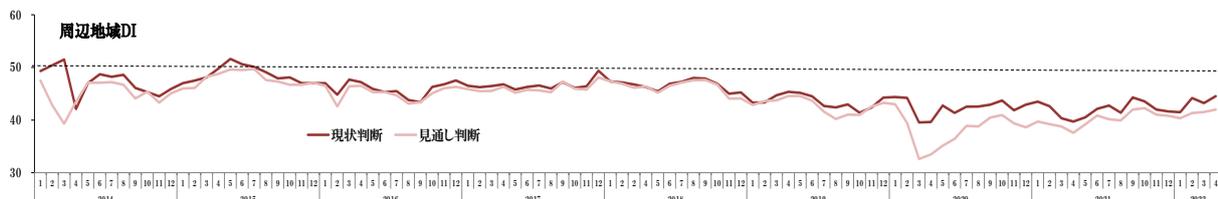
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.3	26.6	68.4	2.8	0.0	42.9
【現状】競合状況 (当月)	2.6	24.0	70.8	2.6	0.0	43.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.5	32.8	60.5	2.3	0.0	40.1
【見通し】競合状況 (当月)	5.8	26.0	65.6	2.6	0.0	41.2



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は前月と同水準

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.7	25.4	71.2	1.7	0.0	43.2
【現状】地域景気 (当月)	1.3	22.5	72.8	3.3	0.0	44.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	2.3	31.6	63.8	2.3	0.0	41.5
【見通し】地域景気 (当月)	3.3	28.7	64.7	3.3	0.0	42.0

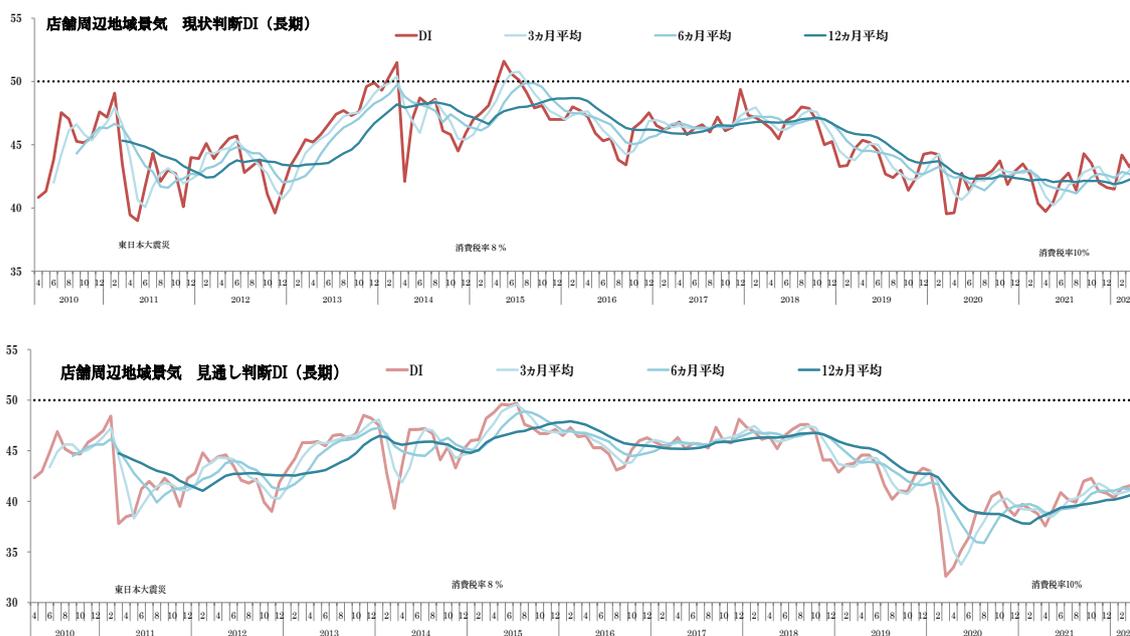


・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは、2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けていたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税率8%への引き上げにより、大幅に悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には現状判断DIは51.6にまで達し、調査開始以来の最高値を更新した。

しかしこれをピークに、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以後方向感の乏しい推移が続いていたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、徐々にその水準を切り下げており、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下した。

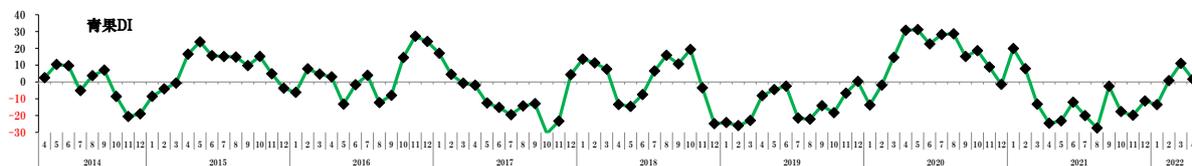
20年2月に大幅に悪化したが、その後持ち直しの動きが続いた。21年以降は、感染状況により上下に振られる不安定な動きが続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：1.7（やや好調）

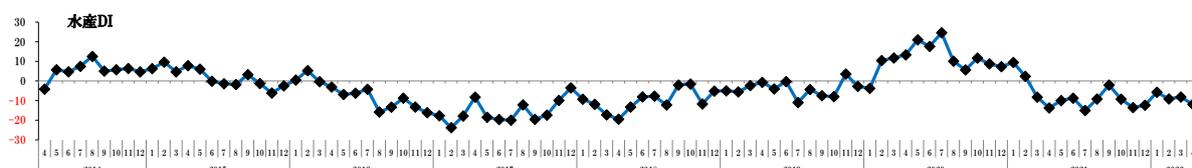
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.2	18.7	28.9	37.3	13.9	11.0
青果（当月）	4.1	32.0	22.4	36.1	5.4	1.7



相場が全般的に前年より高値で推移するなか、前年との感染状況の違いにより、買上点数が伸び悩んだ地域が多かった。販売数量の多いタマネギやじゃがいもをはじめとする土物類、キャベツやレタスなどの葉物の単価が大幅に上昇した。高い気温により、トマトなどサラダ関連野菜が好調に推移した。国産果物では柑橘類が高値で伸び悩んだほか、輸入果物が引き続き不振となった。

2. 水産DI：-11.9（不調）

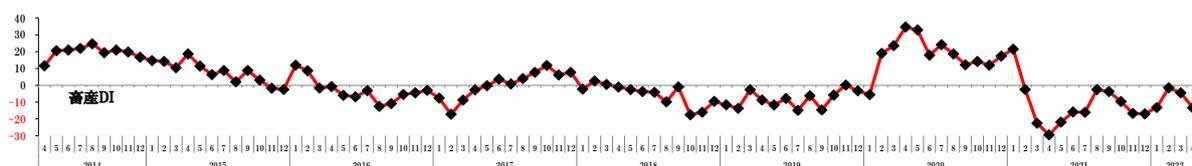
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	9.0	39.2	32.5	13.9	5.4	-8.1
水産（当月）	12.2	46.3	21.1	17.7	2.7	-11.9



前年、緊急事態宣言が発令されていた反動も加わり低迷した。漁船の燃料費高騰、不安定な生魚の入荷、輸入品の高騰など、全般的に相場高となっており、販売に苦勞したという店舗が多かった。肉食需要の減少が大きかった地域では、刺身類や冷凍魚介類で落ち込みが大きくなった。アサリ産地偽装問題の影響もあり、貝類は不振となった。

3. 畜産DI：-13.3（不調）

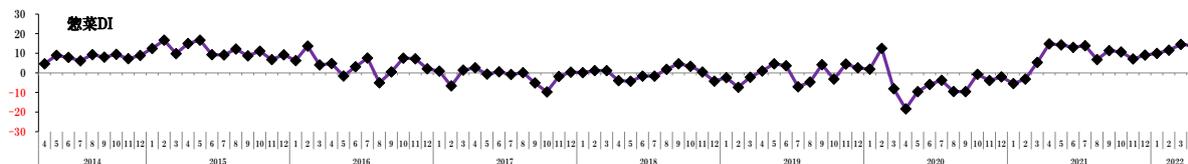
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	8.4	31.1	34.1	22.8	3.6	-4.5
畜産（当月）	15.5	40.5	28.4	12.8	2.7	-13.3



肉食需要の落ち着きにより、全般的に買上点数が低迷した店舗が多かった。輸入肉の価格に上昇傾向が続いており、入荷も不安定とのコメントがみられた。牛肉は、アメリカ産牛肉で価格高騰が続き、販促も打ちにくい状況が続いている。比較的価格が安定している国産豚肉や、相場が落ち着きだした鶏肉は、比較的好調に推移した。ハムなどの加工肉は前年に好調だった反動もあり、伸び悩んだ店舗が多い。

4. 惣菜DI：13.9（好調）

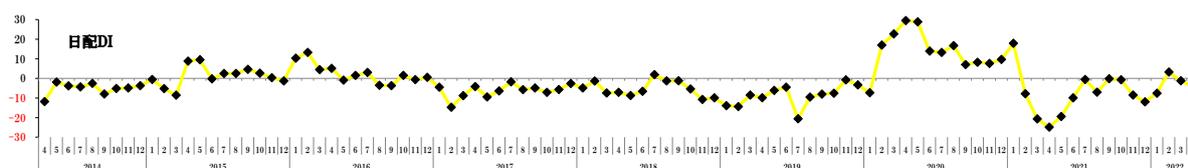
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	0.6	11.4	28.7	47.9	11.4	14.5
惣菜（当月）	2.0	10.9	27.9	47.6	11.6	13.9



引き続き、外食を敬遠する需要の流入を指摘するコメントが多かった。花見需要は回復傾向がみられたが、少人数用が中心となっている。家庭内の昼食需要を背景とした米飯類、また家飲み需要の増加により、焼鳥やつまみ類の動きも引き続き好調となった。調理油類の値上げの影響で、唐揚げやコロッケなどの揚げ物類も好調に推移した。気温上昇によりサラダ関連惣菜の動きがよかった。一方で、食品原料や資材の仕入原価高騰による収益減の懸念が強まっている。

5. 日配DI：-4.1（やや不調）

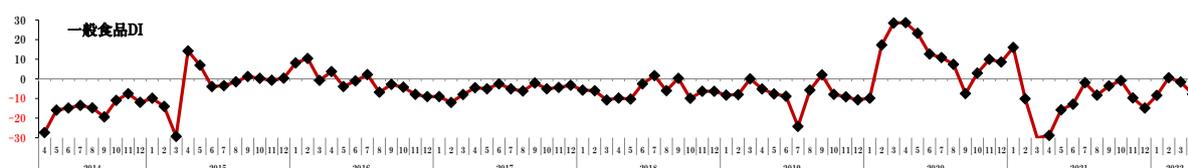
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	3.6	29.3	38.9	24.6	3.6	-1.2
日配（当月）	5.4	36.7	29.9	24.5	3.4	-4.1



内食需要の落ち着きにより、全般的に買上点数が低迷した店舗が多かった。値上げのあったパン類などは、一品単価の上昇、利便性が定着した冷凍食品の好調が続いている。前年より気温が高く推移した地域の店舗を中心に、アイスや飲料、デザート類の動きが良かった。一方練物や漬物、納豆などの和日配は動きが悪かった。チーズやバターなどの乳製品、機能性ヨーグルトには前年の反動減がみられた。健康志向を背景に、豆乳の動きがよいとのコメントもみられた。

6. 一般食品DI：-7.8（やや不調）

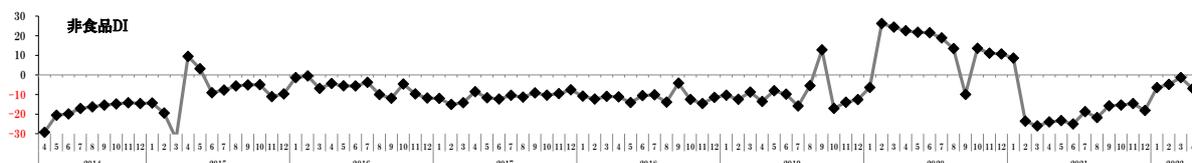
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	6.0	29.3	35.9	22.8	6.0	-1.6
一般食品（当月）	10.7	36.0	31.3	18.0	4.0	-7.8



値上げされた商品が多く、単価は上昇したものの、家庭内食事需要の変化により、買上点数の減少傾向が多くみられた。高い気温によりペット飲料や涼味商品が好調に推移したが、これまで好調だった保存性の高い食品(カップ麺、パスタなどの乾麺類、レトルト類、缶詰など)は、前年からの反動減が大きかった。米類は相場安でも点数が伸び悩み、不振が続く。値上げのあった油や調味料は売上を確保した店舗もみられるが、販促が打ちにくいなど影響を指摘するコメントもみられた。地域差もあるが、家飲み需要に支えられてきた酒類や珍味などのつまみ類の伸びには落ち着きがみられた。

7. 非食品 DI：-6.9（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.3	26.7	36.4	23.6	6.1	-1.4
非食品（当月）	10.4	34.0	34.7	14.6	6.3	-6.9



引き続き感染防止意識の高い傾向が続き、マスクやハンドソープ、除菌関連などの衛生用品の販売は堅調な店舗が多い。一方で、紙コップや割り箸など行楽用品に回復傾向がみられた。ティッシュやトイレトペーパー、キッチンペーパーなどの紙製品や家庭用洗剤は、好不調の判断がわかれている。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2022年5月調査（4月実績）キーワード TOP3

1. 行動制限緩和による需要変化と買上点数の減少
2. 仕入価格高騰と店頭価格上昇
3. 高い気温

（参考）2021年5月調査（4月実績）キーワード TOP3

1. 前年緊急事態宣言下からの反動
2. 青果相場安
3. 周辺競合激化

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

4月実績速報版 154社
 3月実績確報版 177社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp